

令和3年3月31日

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和2年度

# 学校評価総括報告

報告者 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子



理事長  
決 済



## 令和2年度 学校法人相愛学園焼津豊田幼稚園 学校評価の総括

園長 佐野正子

本年は、学校評価に関する事業を進めるにあたり、以下のような経過で作業を進めてまいりました。

1. 各学期における教育活動、学級・学年運営の振り返り(1～3学期)
2. 時期に応じた父母アンケートの読み取り、くみ上げ(1～3学期)
3. 職員各自による自己点検・評価の実施(R3.1月下旬)
4. 保護者アンケートの実施(R3.2月上旬)
5. 各自己評価ならびに父母アンケートの結果を踏まえた施設管理者の  
自己点検・評価 (R3.2.18 理事長の確認決済)
6. 学校関係者評価委員会の実施(R3.2.22)
7. 学校関係者評価委員会からの報告(R3.3.20)
8. 学校評価の総括を理事長に提出

自己点検・評価の内容については2月18日に報告したとおりですが、その後に実施された学校関係者評価委員会からもプラス評価とともに、いくつかの改善点も指摘されました。来期への改善課題については以下のとおりです。

1. 幼児の育ちと照らし合わせながら振り返りをし、教育課程の再構築につなげて行くと共に、年間指導計画を精査し、コロナ禍でも対応できるよう細心の注意を払って保育活動を進めていく。
2. 対話的な話し合いを重ねながら、ベテランと若手が互いに教えあい学びあう時間を大切にしていくなかで、保育の質を図っていく。

これらの事項については、令和3年度の課題として真摯に捉え、十分な対応を検討していきたいと考えます。

なお、安全管理、防災・防犯への対処については一定の評価をいただきましたが、大切な園児の命をお預かりする施設として、引き続きさらに万全を期して取り組んでまいりたいと思います。

以上、令和2年度の本園学校評価の総括として報告いたします。

# 令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年3月31日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園長 佐野正子

〃 学校関係者評価委員長 杉本清美



- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『 あかるく こころゆたかに 』  
 教育目標
- 1 じょうぶなからだに
  - 2 いのちをたいせつに (思いやりのある子に)
  - 3 やる気のある子に
  - 4 よく考える子に

**2 本年度の重点目標**

- 幼児の実態を踏まえながら教育内容や環境構成のさらなる改善をしていく中で、幼児一人一人の育ちを丁寧にとらえ、心身の成長を促していく。
- コロナ禍という厳しい状況下での園生活ではあるが、幼児にとって意味のある生活ができるよう対応を心掛けていく。

**3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果**

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評点	幼稚園としての視点	評点	意見・評価
活動や行事を実施にあたり、内容や実施方法が幼児にとって充実したものとなるよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式・入園式後、新型コロナウイルス感染拡大防止の為休園となってしまった。休園期間中を利用して幼児の成長や課題の共通理解を図りながら、指導計画や保育内容、ねらい等を立案、それを実際の保育に生かしていけるよう具体的な場面について話し合うよう心掛けた。</li> <li>・コロナ禍ということもあり、保育行事自体が中止・延期等になることが多かった。日々の保育の延長線上に「行事」があり、それらを経験することで一人一人が自信を持つ場となることも多い。「行</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初より、新型コロナウイルス感染拡大防止の為の休園措置を取ったこともあり、教育活動実施においては大変だったと思います。園の思いや考え方、取り組み方の変更を保護者に伝えることで、子どもの様子やそこに至るまでの経過等を理解してもらうよう努力されていることは評価できます。</li> <li>休園中、希望者向け家庭訪問やZ o o mを使った取り組み、自由登園日の開催等、工夫を凝らした活動を取り入れたことについても意味あることだったと</li> </ul>

		<p>事」や大人数での「集会」等の取り扱いについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた上で対策を考えながら行うよう努力してきました。</p>	<p>考えます。コロナ禍での生活がまだ続くとは思いますが、子ども達にとって楽しく有意義な経験ができるよう次年度も取り組んでいかれることを希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス問題、緊急事態宣言…不測の事態が続きました。こういう時期にこそ、子ども達の為に幼稚園と保護者が協力し合って活動できる組織となってくれることを切に願います。</li> </ul>
<p>幼児一人一人の内面を育むよう個々に応じた指導、援助が考えられているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育日誌や個人記録を振り返ることで毎日の援助や指導の在り方を見直すとともに、その見取りを教職員間で共有できるよう心掛けた。また、子どもの思いや姿に合わせながらその子らしさを引き出すよう心掛けた。</li> <li>・指導援助を必要とする子については、引き続き個別の指導計画を立案してサポートをしたり、市の巡回相談や専門のカウンセラーによる観察・指導を受け保育に役立っている。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満3歳児から5歳児まで、それぞれの子どもの思いや姿を捉え、その子らしさを引き出すよう心掛けている様子を、園内見学を通じ感じ取ることができました。コロナ禍ではありましたが、子ども達が毎日の生活の中で年代にあった成長をしている姿を頼もしく感じました。</li> <li>・生活環境が様々な現代社会。個と集団をしっかりと意識した上での適切な援助、その為の教職員間の連携等が子どもに寄り添った保育につながっていくよう望みます。</li> </ul>

<p>園内の施設・設備環境、防災対策・感染症対策等が、幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティの徹底、学校保健安全計画に基づく防災避難訓練の定期実施や、保健衛生指導・食育までトータルな視野で幼児の健やかな成長を守るための努力を怠らないようにしてきた。</li> <li>・園庭遊具等、日常的な目視や点検を行いながら安全管理に努めている。</li> <li>・養護教諭の指導のもと、教職員や保護者への情報伝達や対応等、共通理解を図ってきた。</li> <li>・新型コロナウイルス対策として「マスク着用」「室内換気」「手指消毒」等、年間を通じて実施していることもあり、子ども達の健康維持にも繋がっている。(欠席者数減・インフルエンザなどの感染症減)</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内においてはセキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保障するものとなっていること、園内事故も最小限に食い止めていることは評価できます。教職員である大人が気を付けることは勿論ですが、子ども自身が「自分でできることは自分でやろう、気を付けよう」と思う気持ちを育てることも大切なことだと思います。子ども、教職員、そして保護者…3者で手を取り合い良い環境作りに取り組んでいきましょう。</li> </ul>
--	----------	---	---

○自己評価、学校関係者評価を経て、令和3年度への課題として以下の点を挙げました。

1. 幼児の育ちと照らし合わせながら振り返りをし、教育課程の再構築につなげていくと共に、年間指導計画を精査し、コロナ禍でも対応できるよう細心の注意を払って保育活動を進めていく。
2. 対話的な話し合いを重ねながら、ベテランと若手が互いに教え合い学び合う時間を大切にしていく中で、保育の質の向上を図っていく。

以上